



## JARC 「エコプロ 2018」に出展

12月6日(木)～8日(土) 東京ビッグサイト

循環型社会に向けた自動車リサイクルの取り組みを紹介  
オリジナル紙芝居を楽しみ、再生プラチックを使ってマラカスを作ろう！

公益財団法人自動車リサイクル促進センター(所在地:東京都港区、代表理事:中村<sup>なかむら</sup> 崇<sup>たかし</sup> 以下、「JARC」)は、12月6日(木)～12月8日(土)、東京ビッグサイト 東ホール(東京都江東区)で開催される「エコプロ 2018」に出展いたします。

オリジナル紙芝居を上演し、再生プラスチックを使ったマラカス作りを楽しんでいただけます。

また、循環型社会に向けた関係者の取組や成果をパネルで紹介するとともに実際にリサイクル工程で回収された金属などを展示します。

この他、会場には自動車リサイクルのイメージキャラクター“自動車リサイクル博士”も駆けつけ、来場者の方と交流します。

この機会に、ぜひ“博士”にあって、自動車リサイクルについて学んでみませんか。



オリジナル紙芝居(一例)

### ➤ エコプロ2018の概要

- ・会場: 東京ビッグサイト[東ホール]
- ・会期: 12月6日(木)～8日(土) 10時～17時
- ・入場料: 無料(登録制)
- ・主催: (一社)産業環境管理協会、日本経済新聞社

### ➤ ブース概要

- ・オリジナル紙芝居
- ・マラカス作り(先着 200名/日)
- ・鉄、銅、アルミなどリサイクル資源やパネル展示 等



マラカス(一例)



昨年の出展の様子



昨年の体験学習の様子

➤ **自動車リサイクルシステムの概要**

国内では年間約 330 万台（2017 年度）の使用済自動車が発生し、2005 年 1 月に発足した自動車リサイクルシステムのもと、自動車メーカーや関連事業者などの自動車リサイクルの関係者が適正なりサイクルの取組を進めた結果、使用済自動車のほとんどがリサイクル。

### クルマはこうやってリサイクルされるんです

ユーザーはクルマを買うときリサイクル料金を支払います。

ながーく大切に買った愛車もいつかは使わなくなります。

ユーザーが使わなくなったクルマを引取業者に引き渡します。

クルマのほとんどがリサイクル！

金属を原材料に戻してリサイクルします。残ったプラスチックやゴムなども原材料に戻したり熱源として再利用します。

クルマのボディをシュレッダー機で破碎します。

使える部品を取り外して中古部品として使います。

フロン類を抜き取って破壊します。エアバッグ類を安全に取り外します。

### リサイクル料金を使って処理する 3 物品について

(ユーザーが支払ったリサイクル料金で特別に管理する物品)

#### シュレッダーダスト

クルマから有用な部品や金属資源などを回収した後のクズ（プラスチックやゴムなど）をシュレッダーダストといいます。シュレッダーダストを更に原材料に戻したり、熱源として再利用します。

#### フロン類

カーエアコンに使用されるフロン類は、オゾン層破壊や地球温暖化など環境によくない影響があるので大気放出を防ぐ必要があります。フロン類を回収した後、高熱で燃やして無害化します。

#### エアバッグ類

エアバッグ類には爆発性のあるガス発生剤が使われているので、クルマのリサイクルでは安全性を確保する必要があります。エアバッグ類を回収した後、金属部分を原材料に戻してリサイクルします。

➤ **公益財団法人自動車リサイクル促進センター(JARC)とは**

自動車のリサイクル及び適正処理の促進に関する各種事業を行うことにより、資源の有効な利用の向上及び環境の保全に貢献することを目的とする公益法人。

所在地	: 〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 11 階
設立	: 2000 年(平成 12 年)11 月 22 日
理事長	なかむら たかし : 中村 崇
自動車リサイクル法指定法人業務の主務官庁	: 経済産業省、環境省
URL	<a href="https://www.jarc.or.jp/">https://www.jarc.or.jp/</a>



➤ **自動車リサイクルシステム全般のお問い合わせ先**

自動車リサイクルシステム コンタクトセンター

☎ 050-3786-7755 平日 9:00~18:00 (土日祝日・年末年始を除く)

(メディア関係者様のお問い合わせ先)

公益財団法人自動車リサイクル促進センター  
 広報・理解活動推進部  
 電話 : 03-5733-7144